

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (1) 文化芸術への興味や知識を高める 3-1-(1)												
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (2) だれもが参加しやすい仕組みづくり 3-1-(2)												
3 文化芸術 1. だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり (3) 多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり 3-1-(3)												
1	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.9再掲			CATVによる情報提供	CATVによる生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。	文京区民チャンネル「旬感!ぶんきょうタイム」「くらしの情報室」「Bサーチャーズ」「ぶんきょう浪漫紀行」「プレミアムステージ」「文京インフォメーション」ほか	✓	✓	✓	-	CATVで放送することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。マルチビジョンやSNSを活用し、今後も広く視聴していただくよう努める。	広報課
2	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.10再掲			区報の発行	区報による生涯学習関連情報の提供	4月10日～7月25日 125,500部 8回 8月10日～12月25日 126,000部 10回 1月25日～3月25日 126,500部 5回 計年23回 1月1日号 98,890部 年1回	✓	✓	✓	-	区報に掲載することにより、イベントなどを広く区民に周知することができる。	広報課
3	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-1-(3) No.11再掲	44 60 70		ホームページ・SNS等による情報発信	ホームページ・SNS等による生涯学習、スポーツ振興、文化芸術、観光、国際交流関連情報の発信	ホームページ「文京区のできごと」、フェイスブック・ツイッター、パブリシティ等で発信	✓	✓	✓	-	PC及びタブレット端末等の普及が進む中、インターネット上での情報発信は効果が高いことから、今後も広い発信に努める。	広報課
4	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) No.12再掲			生活情報誌の発行	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供	わたしの便利帳による生涯学習関連情報の提供 転入者等に配布(平成30年度発行) 次回発行:令和2年度7月予定	✓	✓	✓	-	区内全世帯に配付することにより、広く区民に周知することができる	広報課
5	1-1-(1) 2-3-(4) 3-1-(3) 4-2-(3) 5-2-(2) No.13再掲			外国語版生活便利帳の発行	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語) 転入者等に配布(令和元年度発行)	✓	✓	✓	-	外国語版生活便利帳の発行(4カ国語併記 日本語・英語・ハングル・中国語)	広報課
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (1) 観賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実 3-2-(1)												
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (2) 文化芸術活動をする人・団体への支援 3-2-(2)												
3 文化芸術 2. 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援 (3) 人材の育成と活動支援 3-2-(3)												
3 文化芸術 3. 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (1) 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実 3-3-(1)												
6	3-3-(1)			鷗外講座	森鷗外の生涯や作品について、多角的に分かりやすく紹介・解説する。	【平成24年度～】年5回程度 ①4月28日「はじめての森鷗外①」参加人数:51名 ②5月12日「はじめての森鷗外②」参加人数:48名 ③5月26日「はじめての森鷗外③」参加人数:38名 ④6月9日「はじめての森鷗外④」参加人数:44名 ⑤6月23日「はじめての森鷗外⑤」参加人数:43名 ⑥7月7日「はじめての森鷗外⑥」参加人数:38名 講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事)	✓	✓	-	✓	・鷗外講座応用編は、鷗外や文学について深く掘り下げた講座のため、リピーターの方の参加が多かった。参加者の満足度は高く、今後へ繋げたい。 ・土曜日開催であったが、日曜日開催希望の意見もあるため考慮したい。	アカデミー推進課

整理No.	体系No. 関連体系	頁	実施計画 事業番号	事業名	概要	元年度実績	目標	目標	目標	特記事項(効果と課題)	担当課	
							1	2	3			4
7	3-3-(1)			記念日イベント	森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持つ取り組みを行う。	【平成24年度～】年5回 ①7月9日 鷗外忌・記念行事(鷗外の命日に展覧会を観覧された方にオリジナルしおりを配布)配布数:104枚 ②7月14日 鷗外忌・記念講演会(私の森鷗外)講師:加賀乙彦氏(作家・当館名誉館長)参加人数:70名 ③11月1日 開館記念行事(開館記念日に展覧会を観覧された方全員にオリジナルポストカードを配布)配布数:70枚 ④11月24日(謚、元号、即位式—鷗外の嘆き)講師:山崎一穎(跡見学園女子大学名誉教授)参加人数:149名 ⑤1月11日 鷗外誕生日記念講演会「死を生きた人びと」講師:小堀鷗一郎氏(新座市堀ノ内病院訪問診療医)参加人数:72名 ⑥1月19日鷗外誕生日記念行事(鷗外の158回目の誕生日を記念して展覧会の観覧料を無料)観覧者411名 ⑦1月19日鷗外誕生日記念イベント「ライアーによるバースデーコンサート」参加人数:1回目85名 2回目76名	✓	-	-	-	・記念日をきっかけとしたサービスを提供することにより、“館”に親しんでもらうことができた。 ・30年度は鷗外の落語を実施した。地域の方々の積極的に広報により、新たな層の誘客を図ることができた。車いすの方の参加もあり、今後も幅広い来館者に対応できるようにする。	アカデミー推進課
8	3-3-(1)			朗読会	鷗外作品の魅力や、朗読という形で訴求するプログラムを展開する。	①5月30日鷗外文学散歩「一葉、晶子、らいてう」(文京区団子坂、本郷菊坂、春日周辺)講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事)参加人数:16名 ②10月23日文学散歩「鎌倉文学散歩」(鎌倉周辺)講師:須田喜代次氏(大妻女子大学教授・森鷗外記念階常任理事)参加人数:20名	✓	-	-	-	・エンターテインメント性の高い展開により、作品朗読の新たな魅力を提示できた。 ・一緒に読む朗読会なのか、聴く朗読会なのかを明確にして企画を行ったため、応募者数も多かった。著名な方の朗読は応募も多いため、次回は会場を広くし対応をする。	アカデミー推進課
9	3-3-(1)			文学散歩	観潮楼跡地以外での広大な鷗外縁の地を巡り、その功績を改めて感じる事業を実施する。	【平成24年度～】年2回 ①6月6日「鷗外文学散策～さいたま編」(さいたま周辺)講師:須田喜代次氏(大妻女子大学教授)山田富美男氏(盆栽作家)参加人数:13名 ②11月14日「鷗外文学散歩～小石川編」(文京区内小石川周辺)講師:倉本幸弘氏(森鷗外記念会常任理事)、野崎和彦(当館ボランティア)参加人数:12名	✓	-	-	✓	・他地域、他施設との交流を行った。 ・区内においてのゆかりの地を巡る文学ツアーは館をゴールとし展覧会観覧へも繋げ、より深い学びを提供した。 ・文学散歩は要望が多いため、回数を増やすことも検討したい。	アカデミー推進課
10	1-3-(1) 1-3-(2) 3-3-(1) No.143再掲			地域に関する学習 機会の充実	地域の現状や歴史・伝統文化を知るための学習機会を提供する。	地域広報紙発行補助34団体	-	✓	✓	✓	町会・自治会が発行する地域広報紙は地域活動の様子、地元の歴史や文化を伝えるツールとなっている。	区民課
11	1-3-(3) 3-3-(1) 4-3-(3) No.192再掲			社会科副読本の作成及び購入(地域についての学習の推進)	地域の歴史や伝統・文化を理解するための社会科副読本(小学校「わたしたちの文京区」「わたしたちの東京」、中学校「わがまち文京」)を作成・購入する。	ふるさと学習副読本の作成(デジタル版も含む)小学校版「わたしたちの文京区」を大きく改訂した「わたしたちの東京都」購入 「わがまち文京」中学校版の作成	✓	✓	-	-	地域の歴史や伝統・文化を理解するためのふるさと学習副読本を作成することができた、	教育指導課
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (2)「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援											3-3-(2)	
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (3)文化資源の再発見と保存・活用の推進											3-3-(3)	
12	3-3-(3)			フィルムライブラリー	映像資料を収集・保存し、調査研究や鑑賞会を行います。	・シビックシネマサロン(月例上映会) 11回 入場者864人 ・シビックシアター★トークショー(特別上映会) 1回(12月) (参加者200人 定員300人 応募者191人)	✓	-	-	-	・支援者の協力により、スムーズに上映会を実施することができた。 ・昨年度よりも入場者が増えたと共に、満員御礼が5回あった。 ・シアタートークショーは支援者の協力でゲストの選定を行っているため、更なる協力者の育成が課題である。	アカデミー推進課
13	3-3-(3)			まち歩きワークショップ	区、大学、CATV等が連携し、区民参加による名所発見と共有のためのワークショップを行います。	【平成28年度～】 第1回:「あなたの名所ものがたり」10月14日 参加者:名 第2回:「あなたの名所ものがたり家族編」11月3日 参加者: 組名 会場:東京大学 ※文京ミュージズフェスタ、文京映画祭での成果報告・紹介 ※東京大学との協働事業、事業成果のHP公開	✓	✓	✓	✓	・東京大学の協働により、大学の研究成果を活かし、参加者も楽しく満足感を得られる事業となった。 ・広く周知をして幅広い年代の参加者を増やしたい。	アカデミー推進課
3 文化芸術 3.「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり (4)文化資源に関する情報収集・整理と発信											3-3-(4)	